

平成26年度当初予算審議

一般会計は骨格予算

質問 今回は骨格予算だが、今後の肉付け予算を含めて、平成26年度の予算規模はどのような見込みか。

答弁 政策的経費の新規事業や変更・中止の余地のあるものは先送りしている。肉付け予算として要求しているものは約30億円で、総額558億円となり、およそ平成25年度と同等の予算規模になると予想をしている。

質問 生活扶助経費が5200万円増額となっているが、今後の見通しは。

答弁 平成24年3月末で600世帯819人、平成25年3月末で641世帯866人が受給している。

る。平成26年1月末時点で665世帯882人となっており、なお増加傾向にある。



平成26年度も前年と同等の予算規模に

質問 消費税が4月から8%となるが、地方消費税交付金について、どれくらいの増額を見込んでいるのか。

答弁 通常であれば8億円の増額を見込んでいるが、消費税が入る年度等がずれることから、平成26年度は2億1800万円程を見込んでいる。

質問 国体本番にむけての大きなスケジュールは。

答弁 平成26年度は、リハール大会に向けての会場整備を行っていく。平成27年度は、7月のカヌー競技をはじめ11月まで各競技のリハール大会が行われる。今後、宿泊や駐車場の整備、ボランティア等、全市的な取り組みとなるよう準備を進めていく。

質問 当市出身のトップアスリートを市職員に採用する等、地元に来てもらうことを検討すべきではないか。

答弁 限られた職員採用数の中でその枠を設けられるか。また、将来に渡



ぎふ国体におけるカヌー競技

り技能を活かせる見通しの難しさ等により現段階では考えていない。技能をどう活かしていくかも含めて、今後検討していく。

質問 前沢の市営住宅「平団地」が震災被害により解体となり、新たな市営住宅を建てる計画であるが、進捗状況について伺う。

答弁 地域協議会から市有地という条件が出され、検討してきている。他部門が管理する用地のため、現在、詳細について協議をしている状況である。

質問 特養老人ホームの待機者数の実態はどうなっているのか。

答弁 早急に入所が必要な方は143人となっている。平成26年度は、小規模特養老人ホームを前沢区と胆沢区の2ヶ所に計画している。完成すると117人解消され、26人の待機者となる。

質問 ILCに関する予算として、82万8千円が計上されているが、国内候補地として決まったにも関わらず、この程度の予算規模でいいのか。誘致に向けた事業の状況は。

答弁 今回は、中学生に対する出前講座について計上している。その他については、今回骨格予算として、事業に関わる部分は計上しておらず、6月議会にて提案をしたい。

質問 通学路の危険箇所について調査しているが、今後どのように対応していくのか。

答弁 平成25年度の危険箇所は66カ所あ

り、平成25年度以降の対応予定は54カ所で、それぞれの道路管理者で順次対応をしていく。

質問 青年就農給付金の現在の給付状況と新規の見込みは。

答弁 平成24年度16名、平成25年度16名の現在32名で、新規で13名を見込んでいる。

質問 「定住促進空き家活用事業補助金」とはどのようなものか。

答弁 空き家を使うように改修する費用として、平成26年度は、10万円を限度に3件分を見込んでいる。



通学路危険箇所対策状況をHPで公表